

## 高智晟さんの息子さんを支援して下さい！



中国の弁護士と活躍する良心の囚人、高智晟さんは、人権活動により中国当局に拘束されています。息子である天語君は、高さんが拘束されたとき、わずか3歳でした。それ以降、高さんはたびたび「失踪」、拷問、違法な自宅軟禁を強いられてきました。執拗な嫌がらせは家族にも及び、2009年には妻の耿和さんは天語君とその姉とともにアメリカに脱出しました。

アムネスティでは息子さんの10歳の誕生日を記念して、高さんの家族へ支援の意思を改めて示したいと考えています。この8月1日から31日までの期間、みんなで天語君に誕生日カードを送りましょう。カードでは、誕生日を祝うと同時に、ぜひ家族に対する励ましの言葉を添えてください。カードは香港にあるアジア太平洋地域事務所からまとめて、高さん一家に郵送する予定です。

〔誕生日カードの宛先〕

### Gao Zhisheng solidarity action

c/o Amnesty International  
Asia Pacific Regional Office  
16/F, Siu On Centre, 188 Lockhart Road,  
Wan Chai, Hong Kong SAR

## 名張毒ぶどう酒事件の奥西勝さんに緊急の応援

を！



人生の半分以上を獄中で過ごしてきた奥西勝さん(87歳)は、現在、危篤の状態にあります。

奥西さんは今、八王子医療刑務所に収容され治療を受けています。今年5月に続き、6

月19日以降は危篤状態で、現在も意識がなく、人工呼吸器がなければ呼吸もできない状態です。容態は日々悪化していて、支援者の情報によると、他の施設の整った病院に移送することもできないとのこと。

奥西さんは、数日におよぶ取り調べで強要された「自白」を根拠に死刑判決を下されて44年、一貫して無実を訴え続け、これまでに何度も再審を請求しています。2005年には科学鑑定に基づき再審開始の決定が出ましたが、後にその決定が覆されました。

奥西さんの病状に鑑み、アムネスティでは7月9日から8月9日までの間にアクションを展開しています。最高検察庁の検事総長宛に、検察が奥西さんの再審に向けた動きを阻むことのないよう強く、要請しましょう。

## ベアトリスさんへのアクションに感謝します！



重病の妊婦だったエルサルバドルのベアトリスさん(22歳)への救命医療の承認が下り、彼女は一命を取り留めました！

彼女は、全身性エリテマトーデスのほか複数の合併症を抱えており、このまま妊娠状態を続ければ生命の危険がありました。胎児はその脳の大半を失っており、医師は「出産しても死産するか、長くて数日の命だろう」と判断していましたが、同国では中絶が法律で禁じられており、裁判所に申請した手術の承認が、なかなか下りませんでした。

アムネスティでは、ベアトリスさんへの救命措置を取るように当局へ働きかけていました。彼女の状況に心を痛めた世界中の支部が精力的に活動を続けた結果、多くの署名が集まり、当局への力強い働きかけることができました。救命医療の承認に大きな力となったと思われます。

この活動を支援して下さい下さった方々に感謝申し上げます。

## ライティングマラソン 2013 の対象が決定！



今年も、ライティングマラソンを準備する時期がやってきました。この数週間は、ライティングマラソンの対象となるケースの選定に取り組ん

できました。昨年の実績を参考に選定基準を決め、慎重に検討した結果、今年以下の12のケースを取り扱うこととなりました。

1. エスキンダー・ネガさん（エチオピア）：表現の自由・良心の囚人
2. アブバカー・ウマー・ブヌさん（ナイジェリア）：拷問・人権の保障
3. ビラ・オートドロモさん（ブラジル）：強制退去
4. ミリアム・ロペスさん（メキシコ）：拷問・刑事免責・強制失踪
5. ヨーム・ボーファさん（カンボジア）：女性教育・強制退去・表現の自由
6. ツン・アンさん（ミャンマー）：良心の囚人・表現の自由・差別・人種差別
7. イハー・チクチャンヨクさん（ベラルーシ）：人権擁護者・LGBTI・結社の自由
8. ボロトナヤでの被拘束者3人（ロシア）：表現の自由・集会の自由
9. サルタニ・アチブカさん（トルコ）：良心の囚人・集会の自由
10. 反体制活動家13人（バーレーン）：良心の囚人・集会の自由
11. ナビ・サレさん（パレスチナ）：表現の自由・安全への懸念
12. ジャベール・メジリさん（チュニジア）：良心の囚人・表現の自由

このリストに沿って、各支部のライティングマラソンチームを選んで頂く予定です。詳細は追ってお知らせします。

## 「88年世代学生グループ」アムネスティを訪問！



ビルマ（ミャンマー）の民主化運動グループである「88年世代学生グループ」のリーダーたちが6月19

日、アムネスティのビルマチームや他のNGOとの会議のため、アムネスティを訪れました。訪問したメンバーのうち3人は、かつて「危機にある個人」に認定されていた方々です。

彼らのほとんどは、1988年に起こった民主化運動において学生リーダーでした。1990年の学生デモで逮捕された人もいます。グループは、2007年に起きた大規模な反政府デモであるサフラン革命でも、主要な役割を果たしました。今回、アムネスティを訪れた人びとはみんな、2007年から08年にかけて、平和的な抗議活動を行ったために逮捕され、長期の懲役刑を言い渡されましたが、2012年1月に釈放されました。

会議では、グループからさまざまな人権問題についての現在の取り組みや意見が発表されました。アムネスティのビルマチームからは、アムネスティの会員が彼らを支援するために行ってきた活動事例を報告しました。リーダーたちは高い関心を持って報告を聞き、感謝の意を表すとともに、ビルマの人権問題の解決に向けて、アムネスティがこれからも継続して活動ほしい、と訴えていました。

### UA ニュース

発行：アムネスティ・インターナショナル日本  
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-12-14 晴花ビル 7F  
TEL: 03-3518-6777 FAX: 03-3518-6778  
E-mail: uaoffice@amnesty.or.jp

UA 年会費 3000 円  
郵便振替 00120-9-133251  
加入者名 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本